医療法人　雄仁会　広報誌

ゆうじんかい

第6号　平成１７年　12月

雄仁会　基本理念

安全・信頼・満足

〇私たちは、患者様に「安全」な医療を提供します。
〇私たちは、患者様に「信頼」される医療を提供します。
〇私たちは、患者様に「満足」される医療を提供します。

11月26日
岡の苑で竹田市古町商店街の皆さんが、きつね踊り“お稲荷さんが舞い込んだ”を披露してくださいました。この踊りは終戦後途絶えてましたが、4年前に復活して地域振興の一環として始められました。

雄仁会　紹介

医療法人　雄仁会　加藤病院は、昭和２６年に設立され、交通の便に恵まれた街の中にありながら、前面には名水豊かな稲葉川が流れ、緑豊かな山々に囲まれ四季折々に味のある風景が広がっている治療環境のもと、地域に根ざした明るく開放的な病院を目指して努力してまいりました。

診療科は心療内科、精神科、内科、皮膚科で、病床数２１２床は精神病棟、老人性痴呆疾患治療病棟からなり、平成８年には介護老人保健施設を併設して、地域の医療・保健・福祉を担う医療法人として幅広く活動を展開しています。

医療法人雄仁会はこれからも２１世紀の精神科病院、介護老人保健施設に求められる使命を全うし、地域から信頼される医療法人として貢献してまいります。

就　任　の　挨　拶

医療法人　雄仁会
加藤病院　事務長　平野　忠

私が医療の世界に入って、43年になろうとしていますが、43年前の病院とは違って病院は建物もきれいになり、病室、廊下、トイレは広く明るく、冷暖房も完備され、ホテル同等に様変わりしていると思います。

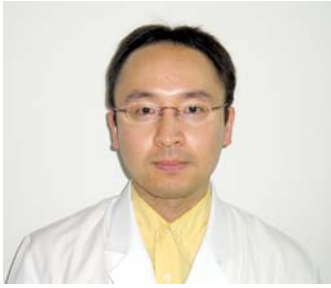
医療も長期入院生活から、短期間の入院となり、介護制度化され在宅医療中心へと変わってきています。当、加藤病院では、地域連携室を設置し、専門スタッフを配置して地域援助活動に取り組んでいます。この背景には、施策である医療費削減の狙いもあります。

経済は、景気上昇時代からバブル崩壊による増税時代となった社会情勢の中、小泉首相は聖域なき構造改革を掲げ、三位一体改革で国の補助金を削減し、地方負担を求めるようになりました。国民皆保険制度も見直されています。医療改革では高齢者の自己負担は1割～3割となりました。療養病床入居者は食住費用分を保険給付から外され、自己負担が増大し不安な時代がやってきています。

医療改正は、来年4月から診療報酬の引き下げ（3．16％）が決まり、医療を取り巻く環境はさらに厳しさを増してきています。

経済不況の中、豊肥地区の竹田市中心部に位置する当院に於いて、地域に密着した医療を提供して行くため、医療の質はもちろんのこと、患者様に優しく、丁寧に接し、病む人の心が分かる医療を提供したいと思います。そのため人材確保に向け、厚生寮の設置も視野に入れた、働きやすい環境作り、チーム医療がやれる能力者、気概を持つ人材育成に努めたいと思います。

うつ病を正しく理解するために　第１回



今回より、当院副院長甲斐清隆医師による『うつ病を正しく理解するために』と題しての連載を開始します。
『うつ病』は最近よくTVや新聞報道でも取り上げられている、とても身近な心の病です。

『うつ病』と聞くとあたかも特別な病気であるかのようなイメージを抱く方が多いのですが、決してそうではありません。統計によると、重い軽いの差はあるにせよ、一生の間に10人に1人の割合でうつ病にかかると言われています。つまり誰しもがかかりうる病気なのです。ですが実際にはうつ病について間違った理解をされている方が多く、その事が病気からの回復の妨げや偏見につながったりしている例も少なくありません。そこで、これから数回に分けて『うつ病』について皆さんと一緒に勉強していきたいと思います。

今回はまず『一時的なうつ』と『うつ病』とはどう違うのか説明します。

もともと“うつ”とは、いわゆる“気分が落ち込んだ”状態のことを指します。このような気分の落ち込みは健康な人でも日常的に何度も経験しますが、大抵の場合、「くよくよしても仕方ない」と気持ちを切り替えたり、「次はこうしよう」と割り切ったりして、次の行動に進んでいけるものです。

ところが、そうした気持ちの切り替えや割り切りが出来なくなり、気持ちが落ち込んだままになってしまう事があります。つまり“うつ病”とは「自力で対処できなくなり、治療を必要としている状態」を指し、誰もが感じる“うつ”に「治療が必要である」という意味で“病”という文字が付いているのだと考えてよいでしょう。

当院では「地域に愛される医療機関・地域に貢献できる医療機関」を目指し、さまざまな取り組みを行っております。その中の一つが講演会です。竹田管内・豊後大野市管内より依頼などを受け、医師が各地に出向きメンタルヘルスや認知症などの講演を行っています。

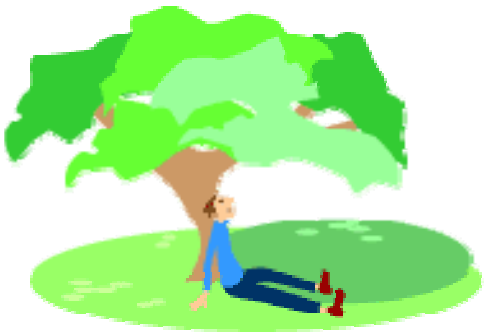
どの講演会においても参加者の関心は高く、熱心に講師の話に耳を傾けられていました。

豊後大野市での講演
（うつ病を正しく理解するために）
甲斐先生

竹田市久住町での講演
（はつらつ教室）
玉那覇先生

各地での講演会の様子

竹田市総合庁舎での
（メンタルヘルスの講演）
甲斐先生



竹田市荻町での講演
（認知症教室）
玉那覇先生

ゆうじんかい

行・事・紹・介

～岡の苑入所者紅葉見学～

岡の苑　作業療法士（ＯＴ）
後藤仁

11月14日、岡の苑に入所されている利用者様と共に、神原渓谷を経由して車窓見学に行ってきました。天候にも恵まれ、心地よい日差しの中で、神原渓谷の自然を満喫しました。利用者様の表情も穏やかで、職員との会話の中で唄を歌われたりなど、心弾まれていました。今後も、継続して屋外での活動を実施していきたいと思います。

精神科デイ地域交流会

11月2日地域交流会で、飛田川グランドにてグランドゴルフがも催され保健所、やまなみ授産所、ほほえみの会の方々との交ができました。
当院からは10名のメンバーさんが参加し、青空の下緑の山々に囲まれた芝生のグランドはきれいに整備されており、気持ちよくプレイが出来ました。
プロみたいに「ホールインワンを出したメンバーさん・・」「優勝したグループ・・」など野外での活動はみんな生き生きしておりました。
厨房の方々に作っていただいたお弁当も「格別に美味しかった」と好評でした。ありがとうございました。
協力いただいた方々にお礼申し上げます。

精神科デイケア師長　秋岡世治子

～竹楽ボランティア～

11月18日～20日竹田市の最大イベント“竹楽”が行われました。
今年も雄仁会の職員が、点灯や片付けなどのボランティアに参加しました。寒い中ではありましたが、多くの店が出店して大勢の人でにぎわいをみせていました。
“竹田市”が「いつもこのように活気があればいいなぁ～」と毎年思います。

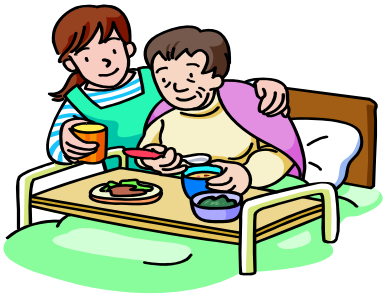
～火災避難訓練～

11月15日（月曜日）加藤病院にて、消防訓練が行われました。
今回は、医師も参加して救急訓練も実施しました。実際に火災が発生した際には、かなり慌てることが予想されますが、初期消火、通報連絡を迅速に行う事が必要です。
まだまだ課題は多く残されていますが、訓練を重ね、有事の際には訓練が生かされるようにしておきたいものです。
これからは空気が乾燥した日が続きます。
火の元、火の取り扱いには十分注意しましょう。

施設課　宗像秀樹

介護保険法改正の説明会

9月3日（土曜日）介護保険法改正の説明会が岡の苑で行われました。
今年10月から食費と住居費が利用者負担となり、所得に応じた自己負担の増減がありますので、詳しくは岡の苑までお尋ね下さい。



自己負担の増減
ランク1：基本的には変わりありません
ランク2：月額約1万円の負担減となります
ランク3：月額約8千円の負担増となります
ランク4：月額約3万円の負担増となります

転倒予防教室・訪問リハビリをはじめました！

転倒予防の第一歩は、自分の能力を知ること。まず初日は個々のバランスや筋力を評価するさまざまな計測です。計測の様子↓

最大一歩幅測定

踏み台昇降測定

岡の苑に勤務するリハビリ課職員は、作業療法士（OT）３名、理学療法士（PT）１名、助手１名の合計５名。日々利用者さまのリハビリに取り組んでいます。
さて、皆さんすでにご存知かもしれませんが、来年度の介護保険法改正では、介護予防サービスが新設されるなど、制度の大幅な見直しが予定されております。
当苑においてもそれらに向けた取り組みとして、介護予防・地域のニーズを考慮し、９月からは転倒予防教室（いきいき若返り道場）、１２月からは訪問リハビリを始めました。
転倒予防教室では、足腰を鍛え、転ばないための知恵を身に付けることで、介護度の低い方（要支援・要介護１）が寝たきりの入り口となる転倒を防ぐことを目的としています。月に5回岡の苑の機能訓練室にて行っています。
訪問リハビリでは、要支援者・要介護者がそれぞれ持っている能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう、医師の指示に基づき計画をたて、それぞれの自宅で行うリハビリです。
いずれのご利用も、まずは職員までご相談下さい。

訪問リハについて

営 業 日　月曜日～金曜日
営業時間　8時～17時
休　　日　土曜日・日曜日・祝日
　　お盆・年末年始
実施地域　竹田市・豊後大野市

栄養管理室より

「百果の女王」で若々しく

今が旬のりんごは、薬膳では、肝機能・消化機能を高め、桃と並び「不老長寿」の果物といわれています。 ペクチンとカリウムを多量に含んでいることが特徴です。

ペクチンは水溶性の食物繊維で整腸作用に優れ、消化と栄養の吸収に効果を発揮します。カリウムはナトリウムの働きを抑えて、血圧の安定を図ります。

体の調子を整えるアルカリ食品ですから、外食が続いて脂の多い酸性食品をとり過ぎ、疲れやすくなった時など、体に優しく作用します。

生果が一番ですが、大根とりんごを千切りにし、貝割れと素揚げしたじゃこを散らし、和風ドレッシングをかけてもおいしいです。

炒め物に合い、酢豚ではパイナップルの代わりになります。

「りんごの包み揚げ」は、細かく切ったりんごに砂糖とレモンを加えて煮たものと、クリームチーズを春巻きの皮で包んでカリット揚げたものです。

シナモンパウダーを少し振りかけると、大人の味になります。

体調を崩しやすい季節の変わり目、「百果の女王」りんごを美味しく食べて元気にお過ごしください。

管理栄養士　佐藤桂子

地域連携室からのお知らせ

副室長　計野　　室長　後藤

第１回精神科医療啓発セミナー（報告）

10月27日　副院長甲斐清隆医師によるうつ病教室が竹田管内保健師ならびに家族会・ボランティアを対象に行われました。

なお、好評につき、今後予定されているセミナーのお知らせを致します。

今後の精神科医療啓発セミナー（予定）

日程　　平成18年1月予定

＃１　　精神科看護とリハビリについて講演

＃２　　精神科医師、保健・看護師、作業療法士、精神科相談員とのディスカッション

大分県病院学会報告

11月20日（日曜日）第23回大分県病院学会が別府ビーコンプラザで行われました。当院からは社会福祉部会・栄養部会に演題発表がありました。

社会福祉部会では、精神保健福祉士の本山英樹さんが「加藤病院における地域連携室の業務と今後の課題」について、また栄養部会では、看護師の阿南薫子さんが「精神科病棟における生活指導～肥満患者様に対する体重コントロール指導効果と今後の方向性について考える～」と題し発表されました。今年の学会は、昨年を上回り1200名を超える参加者があり、別府市のビーコンプラザは熱気にあふれていました。

大分県精神科救急電話相談センターが開設

【精神科救急電話相談センター】とは

夜間・休日の時間帯に、精神疾患を有する方や
そのご家族などからの緊急的な精神科医療についての電話相談に
応じるとともに、必要に応じて医療機関の紹介や受診をアドバイスします。

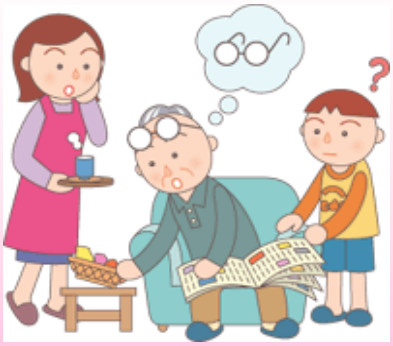
ご利用にあたって
◇ かかりつけの医療機関がある方は、まずそちらにご相談ください。
◇ 緊急性の高い精神科医療に関する相談窓口ですので、精神科救急医療以外の精神保健福祉に関する相談については、平日に各市町村、県民保健福祉センター、保健所、精神保健福祉センターへご相談ください。
◇ 医療機関の状況により、ご要望にお応えできないことがありますので、ご了承ください。

精神科救急電話相談センター　　TEL　097－541－1179

受付時間　平日　（土曜日を含む）　17:00～21:00
日曜・休日　　9:00～21:00
（注）休日は、祝日及び12/31～1/3、8/13～8/15

お問い合わせ先　大分県福祉保健部健康対策課（精神保健福祉班）
TEL　097－536－1111

もの忘れに関する健康相談について



加藤病院では精神科医による「もの忘れ」に
関する健康相談を承っています。
下記にような症状でお困りの方はお早めに
ご相談ください。

【良性のもの忘れ】

・忘れるのは体験の一部（食事の内容）
・状態はひどくならない
・自分のいる場所がわかっている
・自覚する
・生活に問題なし

【認知症のもの忘れ】

・体験全体を忘れる（食事をしたこと）
・状態はひどくなる
・自分のいる場所がわからない
・自覚なし
・生活に問題あり（幻覚、妄想、外出癖など）

※受診の際には状況の解る方のご同伴をお願いしています。

医療相談の窓口担当は、精神保健福祉士　計野（はかりの）です。お気軽にご相談ください。

きつね踊り

編　集　後　記

今年も残り少なくなってきました。病院機能評価受審査の年で、非常に慌ただしい1年でした。最近毎日のように「診療報酬大幅引き下げ」などの報道が流れており背筋が寒くなる思いですが、来年は景気が少しでも良くなることを期待します。1年間ありがとうございました。

（広報委員長　岑 浩）

ACCESS 交通のご案内

JR豊後竹田駅より徒歩3分

加藤病院

診療科

- 心療内科
  （ストレス病、うつ病、不眠症）
- 精神科
- 内科
- 皮膚科（火曜　午後３時～）
- もの忘れに関する健康相談

診療時間
午前９：００～午後5：00
（日曜日・祝日は休診）
面会時間
午前９：００～午後8：００

岡の苑

介護老人保健施設

- 通所リハビリテーション
- 入所・短期入所
- 痴呆専門病棟
- 訪問介護ステーション
- 指定居宅介護支援事業所
- 訪問リハビリテーション

通所時間
午前９：４０～午後３：３０
（日曜日は休み）
面会時間
午前８：００～午後７：００

発行元
医療法人　雄仁会
〒８７８－００１３
大分県竹田市大字竹田１８５５
☎　０９７４－６３－２３３８
ＦＡＸ　０９７４－６３－２３３９
メールアドレス　yuujinkai@lime.ocn.ne.jp
ホームページアドレス　http://www16.ocn.ne.jp/~yuujin/